

コミュニケーションが捗る 風通しの良い執務環境

令和 8 年 3 月現在

プロジェクトの詳細

改修完了	: 令和8年3月23日
人口	: 約35,800人
対象人員	: 30名
対象面積	: 150㎡
建物概要	: 地上2階地下1階 SRC構造
委託業務	: 利府町職場環境改善事業 支援業務委託



個人ロッカー

執務スペースとコミュニケーションスペースの間に個人ロッカーを配置。床面の貼り分けによりゆとりある通路を確保し、業務に集中できる環境を整備。



受付窓口

既存のカウンターを利用した受付窓口。カウンター前にはテーブル・チェアを配置し、来庁者の待合や窓口対応のスペースとしても活用。



受付窓口

カウンター裏には余裕ある通路を確保。カウンターと執務スペースの間に収納を配置し、来庁者からデスクが見えないよう配慮。



オカムラHPでも
ご覧いただけます

宮城県利府町では、職員の働き方改革と行政サービス向上を目的に、パイロットオフィスによる職場環境改善事業を実施しました。本事業は、職場のレイアウトやデザインを見直し、コミュニケーションを促進する空間を創出することで、職員のモチベーションや生産性の向上、さらには個々の適応力強化を図ることを目的としており、将来的な全庁展開を見据えた試行的な取り組みとして位置付けられています。

執務環境では、役職者を含めたユニバーサルレイアウトとワゴンレス化を採用し、自席とABWスペースを組み合わせた柔軟な席運用を導入しています。ベンチ型デスクによりすっきりとした作業環境を確保するとともに、ノートPCや無線LAN、庁内チャットの活用により、場所にとらわれない働き方と円滑な情報共有を実現しています。また、電子決裁の導入や文書削減にも取り組み、業務効率化を推進しています。

本取り組みでは、ワークショップや見学会を通じた意識醸成も行われており、単なる空間整備にとどまらず、職員の行動変容を促す運用面の工夫も重視されています。こうしたハードとソフトの両面からのアプローチにより、風通しが良く柔軟に働ける職場環境を実現するとともに、その効果検証を通じて、今後の庁舎全体の改修や働き方改革の指針となるモデルの確立を目指しています。

コミュニケーションが捗る 風通しの良い執務環境



執務スペース

管理職を含めたユニバーサルレイアウト・ワゴンレスを採用。自席とABWスペースを効率的に利用し、業務の効率化とコミュニケーションの活性化を促す。



執務デスク

机上面は1人当たりW1200D600の広さを確保。ベンチタイプのデスクは中央に配線孔が設けられており、机上の配線をすっきり収納できる。



執務デスク

床からの立ち上げ配線を1か所に集約。天板下にはカバンをかけるフックもあり、すっきりした足元空間を確保。



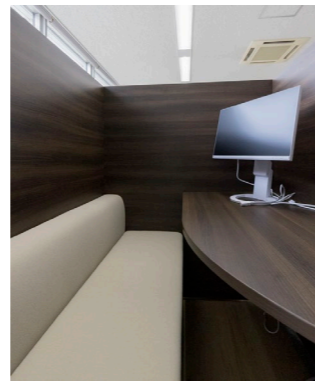
個人ロッカー

執務スペースとの緩やかな区切りとして配置されたロッカーは、天板面を作業スペースとしても活用でき、コミュニケーションの場としても機能。



個人ロッカー

配布物を投函できるポスト付きの個人収納。ダイヤル錠を採用し、鍵管理の手間を軽減。



集中ブース

ソファ席を備えた、落ち着いた個人用集中ブース。集中作業だけでなくWeb会議などにも対応。



ミーティングスペース

上下昇降テーブルやファミレス席を取り入れ、カジュアルな相談から集中した打合せまで、目的に応じて柔軟に利用できるミーティング環境を実現。



上下昇降テーブル

立っても座っても使える昇降式テーブルを活用することで、短時間のクイックな打合せから集中したディスカッションまで、目的に応じた使い分けが可能。



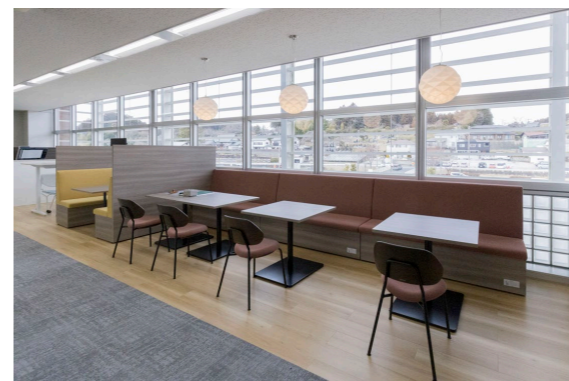
ファミレス席

ソファによる快適性と背もたれの適度な囲われ感によって、リラックスして打合せや相談ができる居心地の良いミーティング空間。



ファミレス席

ファミレス席のソファ座面下を収納スペースとして活用し、防災用品や備蓄品などを効率的に収納。



ベンチソファ席・ペンダントライト

個人での集中作業やミーティングなど多用途に利用可能。対面での会話もしやすく、カジュアルなコミュニケーションを促進。



ベンチソファ席

テーブルを移動・連結することで、個人利用から複数人での打合せまで幅広く対応。用途に応じた柔軟な空間活用が可能に。